

高知県議会議長
武石利彦様

高知県議会議員
坂本孝幸

平成 27 年度政務活動結果報告について

平成 27 年度における政務活動実施結果について、下記のとおり報告する。

記

1 実施期間

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの間

2 実施内容

上記期間において、産業振興、農林漁業振興、観光振興、保健・医療・福祉分野等での現地視察や意見交換などを実施し、そこにおける課題を明らかにし分析することで今後の県政の方向性を模索した。

(1) 産業振興について

6 月 8 日、県内の製紙会社を訪問し、高齢者用オムツの海外販売展開についての調査を実施した。東南アジア方面での高齢者用オムツ販売は中国が活発に展開している模様であるが、中国製は安価ではあるものの通気性に問題があり高知製品と比較すると、その劣性が良くわかると言われる。

高知製品は原料に米松を利用しており、通気性の良い製品づくりを達成している。同社では、高齢者用オムツ部門では製造余力も残してあり増産や外国の実情に合った製品づくりも可能であるということで、本県の紙産業振興の上からも外国向け販売について、今後の方向として議論すべきであろう。

(2) 農業振興について

8 月 7 日、四万十町にある「四万十みはら菜園」を訪問し、同社のトマト栽培を視察した。同社では、2.7Hの農地で年間 1,000 トンのトマトを栽培しているが、反収 25 トン～28 トンを収穫している。大手食品会社で

あるカゴメと委託契約を結び出荷しているが、出荷は生食用のみであり加工用トマトはカゴメには出荷されていなかった。このため同社では、加工用トマトを利用してトマトジュースを製品化し大阪のデパートなどでの販売を行っている。

トマト栽培上の課題は、苗づくりである。苗代として年間 1000 万から 2000 万円を必要とするが、現在は愛媛県で育苗しているが、県内育苗は本県の農業振興の上からも不可欠のものである。

(3) 観光振興について

本県への国内外からの観光客は年々増加傾向にあり、その消費は本県経済にも大きく影響している。外国人観光客についても増加中で、特にクルーズ船を利用した本県観光は急増傾向にある。外国から見た本県観光上の課題を探るために、3月22日から25日の間、台湾を訪問し地元旅行関係会社との懇談を実施した。

台湾側からは、本県での宿泊費が高額であるという問題やアクセスの悪さなどが指摘された。本県側からは、四国周遊ルートへの活用に止まらず高知新港を利用した船便での誘客も計画してほしいことを伝えたが、台湾側からは大いに可能性があることが示された。

3 その他の政務活動項目

- 中山間対策に関する調査活動
- 保健・医療・福祉に関する調査活動
- 南海トラフ地震対策に関する調査活動
- TPPとその影響に関する調査活動
- 地場産業振興、地産地消に関する調査活動
- 日本国土の防衛に関する調査活動 など